

医学博士。大津赤十字病院、員弁厚生病院勤務などを経て現職。日本眼科学会認定眼科専門医など。



ふるかわ まりこ
眼科部長 古川 真理子

総合上飯田第一病院では、目の内
部を満たす硝子体や、目の奥にある
網膜に生じる疾患を治療する網膜硝
子体手術を20年以上前から手がけて
きた。その培ってきた経験に基づく手
術に加え、院内の内科と連携して、全
身疾患を抱える患者の手術や、失明
の大きな原因となる糖尿病網膜症の

最新機器で網膜硝子体手術を
2015年に576件実施



27ゲージシステムなどの最新機器が揃う手術室



社会医療法人愛生会

総合上飯田第一病院



診療受付時間(眼科):月～金 8:30～11:30
水(第3週) 12:30～15:00

病床数:236床

(一般病棟、地域包括ケア病棟)

〒462-0802 愛知県名古屋市区上飯田北町2丁目70番地 TEL.052-991-3111

20年以上の経験と親身な姿勢のもと 地域に網膜硝子体手術を提供

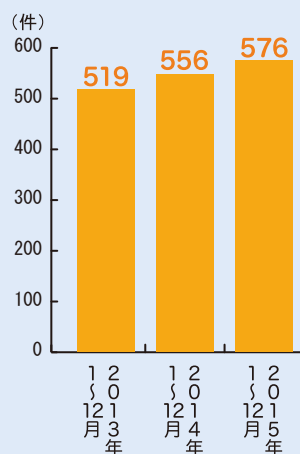
自覚症状の少ない段階の疾患も含め、患者が納得して治療を受けられるよう、丁寧なコミュニケーション

「一生のお付き合い」と考え
術前後も丁寧な対応を

と説明する古川真理子医師。
「最近では、黄斑
上膜の手術が増加しています。この
疾患は機器が進歩したことで、重症
化を防ぐために早期からの手術も積
極的に行うようになってきました」

患者の血糖値コントロールも可能。そ
こから愛知県外も含めた他院の紹介
件数も多く、2015年だけでも57
6件と豊富な手術実績を持つ。
手術の対象となる疾患は、網膜剥
離や硝子体出血、糖尿病性網膜症な
どさまざま。それらすべてに対応し
た上、新しい機器や術式を積極的に
取り入れ、負担の少ない手術を追求
しているという。「最近では、黄斑
上膜の手術が増加しています。この
疾患は機器が進歩したことで、重症
化を防ぐために早期からの手術も積
極的に行うようになってきました」

網膜硝子体手術実績



瞳孔を開くことなく眼底を図れる検査機器など、一般の診療所で導入の少ない機器も活用

「患者さんとは一生のお付き合いに
なると考えています」と、古川医師
は術後のフォローにも力を入れてお
り、再発や反対側の目の疾患の予
防、万が一の際の迅速な対応などを
心がけてきた。こうした親身な姿勢
はスタッフにも浸透しており、患者
にとっても通院しやすい環境となっ
ているという。これからも同院は地
域に信頼される医療機関として、高
度な眼科手術を提供し続ける。

もまた重視している。例えば手術を
する場合、しない場合のメリット・
デメリットなどをすべて説明し、患
者が治療法を選びやすくするほか、
すべての問題解決を目指し、話を聞
くときには患者の悩みを極力引き出
すよう気を配ってきた。